

ODAの10の新たな改善措置

I. 戦略性強化（選択と集中）

1. 国別援助計画の拡充
2. 計画に基づいた戦略的援助を具体化するための「実行指針」の導入（機動性向上）
3. 有償、無償、技術協力等のスキーム間連携、「プログラム化」の推進
4. 現地ODAタスクフォースによるレビューの強化
5. 官民連携の一層の推進

II. 効率性向上（コスト縮減）

6. 有償資金協力の調査から入札までの期間短縮
7. 無償資金協力のコスト縮減数値目標の設定（分野と地域を特定）
8. 現地仕様の設計・現地業者の積極的な活用（新無償スキームの導入）

III. チェック機能の強化

9. 無償資金協力事後評価（第三者も参画）の導入と拡充
10. 評価に国内の大学・研究機関の幅広い参加

チェック結果を企画・実施に反映させるサイクル
（PDCAサイクル）の確立

より質の高い成果重視のODAへ